

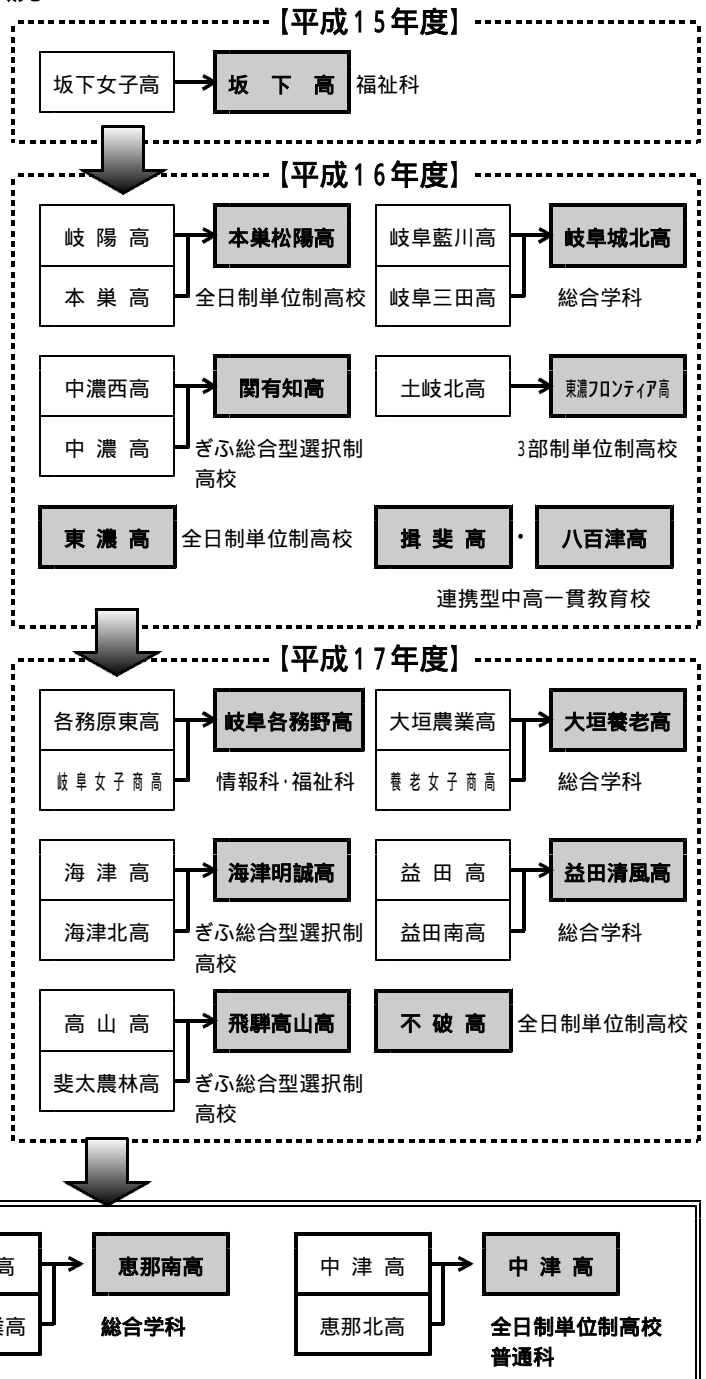
## 「生徒いきいきプラン」

県内中学校卒業者がピーク時の平成元年の36,330人から平成19年には約20,800人へと約43%も減少します。また、生徒の学習に対するニーズが一層多様化するなど、高校をとりまく社会状況は大きく変化しています。

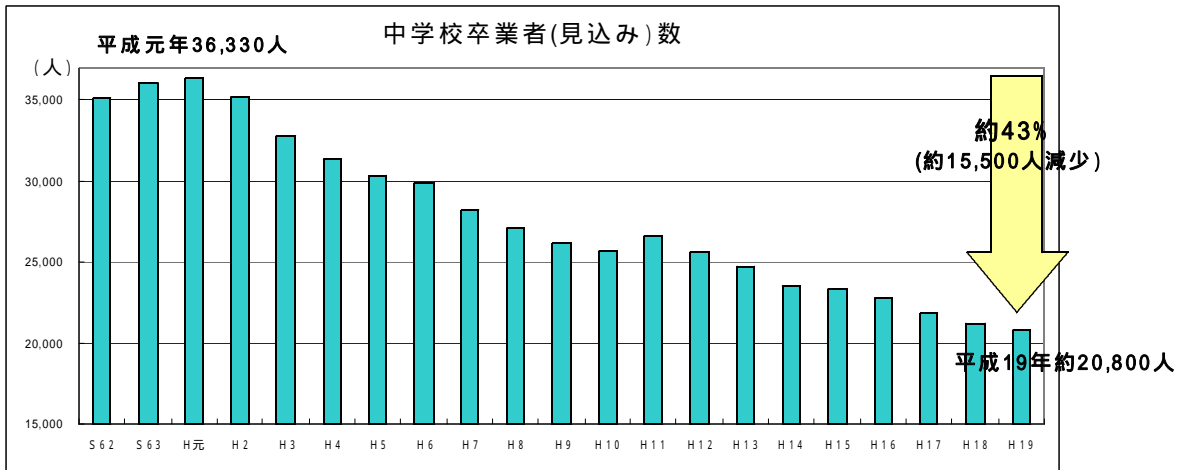
岐阜県教育委員会では、高校を一定規模に保つことにより教育水準や活力を維持し、また、総合学科や普通科単位制高校など新しいタイプの高校・学科を設置することにより学ぶ場の選択幅を一層拡大するなど、県立高校を再編成し、未来を担う子どもたちの立場に立ったより一層魅力ある高校づくりを進める「生徒いきいきプラン」を平成15年度から実施しています。

### 「生徒いきいきプラン」のいままでの経緯と実施状況

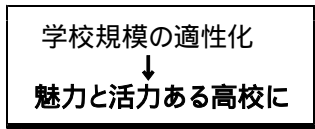
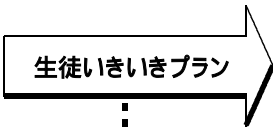
年・月	経 緯
平成13年 12月	高等学校活力向上検討委員会の提言 「活力と魅力にあふれる高等学校の整備充実について」 - 生徒いきいきプラン -
平成14年 4月	県教育委員会 「生徒いきいきプラン」 整備方針及び実施計画の発表
平成15年 4月	坂下高校 「生徒いきいきプラン」による新しい高校としてスタート
平成16年 4月	本巣松陽高校など7校 新しいタイプの高校としてスタート
平成17年 4月	岐阜各務野高校など6校 新しいタイプの高校としてスタート
平成19年 4月	加茂高校と白川高校などの統合



# 少子化の影響による高校教育の諸課題に対応



**高校の小規模化による問題点**  
 多様な教育課程の編成が困難  
 授業の専門性の確保が困難  
 生徒同士の交流機会が減少  
 特別活動の実施に影響



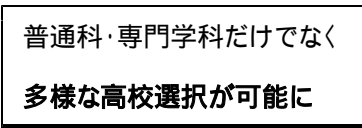
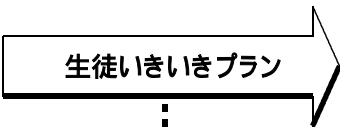
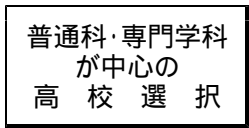
高校の統合と再編を進めることで

県立高等学校の数の変化

平均学級と5学級以下の学校数は全日制の県立高等学校の数値である。

	平成元年度	平成14年度		平成17年度	平成19年度
学校数	75	74	➔	66	63
平均学級数	7.7	5.8		6.0	-
5学級以下の学校数	17	34		25	-

## 生徒の学習ニーズの多様化に対応



平成14年度  
 6校

新しいタイプの高校(学科)の設置  
 により学びの選択肢の一層の拡大

新しいタイプの高校(学科)は  
 平成19年度には、24校に拡大

「生徒いきいきプラン完成時」

